



池田の森農園クラブ

■地区名(所在地)・面積・戸数:

エコロジー団地 池田の森(静岡県静岡市駿河区池田)・約1.3ha・35戸

1. 団体の概要

- ①団体の種別：任意団体
- ②団体全体の予算：年間約5～10万円
活動費5万円
- ③外部委託：なし
- ④共有地：緑歩道
共有施設：なし
- ⑤まちなみのルール：まちづくり協定(2003年開始)

2. 維持管理活動の概要

1) まちなみ形成の時期

静岡駅から車で15分程度、かつてゴルフ練習場だった13,000㎡の土地で2002年に造成が始まった。住宅地の中心に1,000㎡の畑と田んぼを置き、その周辺に35区画の戸建分譲地およびアトリエなどを配置した住宅地である。

ここに、自然環境と豊かな暮らしが共存する、畑や田んぼを介した風通しの良い安全なコミュニティをつくることをめざし、住人はまちづくり協定(紳士協定)に署名して計画がスタートした。団地の中央に位置する畑と田んぼの大きな空間が心休まる田舎の風景であり、周辺道路と住宅地を結ぶ小径による内と外の意識も併せ、自分の家だけでなく「池田の森」全体が「自分たちの界限」となるよう配置されている。

2) 活動の開始時期と活動の経緯

農作業の参加者で「池田の森農園クラブ」を組織し、野菜づくりの情報交換や全住民を対象とした収穫祭を開催するとともに、街路清掃などの住環境向上に関する活動を行っている。

普段は地域コミュニティにおいて影の薄くなりがちな男性たちが、農園がもたらす適度な人間関係により日々お互いの顔が見える暖かな雰囲気を醸成できていることは、住宅地中心部の環境整備だけでなく、地域全体の防犯性向上にも多大な貢献をしている。

3) 現在の活動状況

農園クラブの活動として、野菜づくりの情報交換や収穫祭だけではなく、子どもたちとともに住宅地内の清掃を行うことで集めた落ち葉の堆肥化や、野菜の世話や収穫、田植え稲刈りなどを通じた自然とのつながりを実際



左から、漆畑成光、寺西清廣、山田豊太郎

に体験させることができている。これにより“ふるさと”の景観、自然、コミュニティの大切さを自然に感じとり、世代を超えた人と人のきずなが生まれているのではないかと感じている。

4) 今後の活動方針

農園クラブの活動を中心とした自然発生的な触れ合いを誘発する取り組みを継続するとともに、樹木の生長を考慮した長期的な植栽管理計画の策定や各住宅と道路などのコモンスペースをつなぐ庭の積極的な活用の検討を進めていく予定である。

良好な住環境を樹木の生長に合わせて更新しながら、ここで育った子どもたちが“ふるさと 池田の森”を魅力的な景観と世代を超えたコミュニティのある場所に成長させてくれることを楽しみにしている。





- ①まちづくり協定を守りながら、バラエティ豊かな住宅が建ち並ぶ
- ②緑地やフォルトがあり、子どもも安心して遊ぶことができる
- ③緑道から住宅地に入る。入口にはショップやアトリエを配置
- ④住人による公園の草取り作業
- ⑤子どもたちも参加する田植え
- ⑥畑のコンポスターを手づくりする
- ⑦「池田の森農園クラブ」総会
- ⑧フリマ「森の市」。住人も出店



(提出図書より一部を抜粋)